

植物生態学者“多田多恵子”さん同行 春のひとときに現れる原野を覆うお花畑で花三昧

お申込みは
こちら

西オーストラリア・ ワイルドフラワーの楽園満喫 8日間

『花の観察会』講師の多田多恵子さんが案内する西オーストラリアの花観察の旅。シバの女王やスパーダーオーキッド、リースレシュノールティアやレジュースザンクロスなど、ここには行かなければ見られないワイルドフラワーを楽しめます。雄大な大地で花三昧を楽しむ旅へご案内します。

発着地 東京

歩行時間

宿泊高度

宿泊施設

食料 (全泊込)

出発日～帰国日	旅行代金
残3 8/28(木)～9/4(木)	¥736,000



私が案内します

- 燃油サーチャージは旅行代金に含まれています。今後変更となる場合は、ご旅行代金ご請求の際にご案内いたします。
- オーストラリアETA(電子渡航認証システム、実費20AUDドル、2025年6月1日現在)の取得が別途必要となります。スマートフォンが必須です。ETAのシステム上、弊社での代行申請を承ることができません。ご了承ください。
- ツアーリーダー(添乗員): 東京から東京まで同行します。
- 最少催行人数: 10人 ●食事: 朝5回、昼5回、夕5回
- 利用予定ホテル: Cクラス以上。セルヴァンティス/ピナクルズ ジェラルトン/ネスト、アイビス、オーシャン、ブロードウォーター、マントラ、モーターイン
- 一人部屋利用追加料金: ¥112,000
- 利用予定航空会社: シンガポール航空、カンタス航空

※講師の“多田多恵子”さんは東京から東京まで同行します。

※花の開花状況は毎年の気象条件や場所などで異なります。このページに掲載の花が満開でない場合や、見られない場合があります。また、開花状況により訪問地を変更する場合があります。

希少種、固有種、花と旅のこだわり

パースを中心とするオーストラリア西海岸のフラワー街道をめぐる花旅です。専用車で移動しながら、一面に広がるお花畑の中を散策したり、希少種を探したりしながら西オーストラリアの固有種を楽しめます。広大な西オーストラリアという移動距離が長くなりがちですが、このコースでは一日の移動距離を減らして、宿泊も連泊を2回とゆっくりと植物観察を楽しめる行程にしました。



▲エバーラスティングのお花畑

ここにしかない 花を訪ねる

海と砂漠に囲まれ他の地域とは隔絶されているため独自の進化を遂げた花が多い。一つ一つが日本では見られない姿をした花が多く、見られる所も限定されています。



▲レジュースザンクロス

レア度は一番 一度は見たい花

花好きなら誰もが一度は見たいと思うリースレシュノールティア。円形に広がり縁取るように花咲く姿はまさにリース。可愛らしい花色も人気の秘訣。



▲丸く花を付けるリースレシュノールティア

日程	発着地	スケジュール/食事【宿泊地】
1	東京 発 東南アジアまたは 豪州内都市経由	夜、東京発→東南アジアまたは豪州内都市経由でパースへ。 機中泊
2	パース 着/発 ヤンチャップ国立公園 セルヴァンティス 着	朝、パース着。専用車でヤンチャップ国立公園などでワイルドフラワーウォッチングをしながら、セルヴァンティスへ。 機中泊
3	セルヴァンティス 滞在 レジュアール国立公園	朝、専用車でマウント・レジュアール国立公園へ。ここにしかないサザンクロスなどを探します。 機中泊
4	セルヴァンティス 発 ジェラルトン 着	朝、専用車で花の美しいところがあれば車を止め、フラワーウォッチングを楽しみながらジェラルトンへ。 機中泊
5	ジェラルトン 滞在 コールドシム自然保護区	朝、専用車で内陸部のマレフ周辺やコールドシム自然保護区でリースレシュノールティアやエバーラスティングの群落などのワイルドフラワーを楽しめます。 機中泊
6	ジェラルトン 発 セルヴァンティス 着	朝、専用車で「ハートオブザワイルドフラワーカン トリー」と呼ばれる地域を南下。シバの女王やスパーダーオーキッドなどを探しながらセルヴァンティスへ。 機中泊
7	セルヴァンティス 発 パース 発 東南アジアまたは 豪州内都市経由	朝、専用車でパースへ。キングスパーク&ボタニカルガーデンへ。 パース発→東南アジアまたは豪州内都市経由で帰国の途へ。 機中泊
8	東京 着	朝、東京着。 機中泊

※航空会社の都合や現地事情により、日程は一部変更される場合があります。



▲毎年の開花状況により見られる花は変わりますが、西オーストラリアならではの花を探します

見られれば幸運 希少種を探します

黒い毛が覆いひらくと中は緑色の花が咲くブラックカンガルーポー。出会えるかどうかはわかりませんが、西オーストラリアでないと出会えない花を探します。



▲緑と黒のブラックカンガルーポー

広大な原野を訪ね 幻想的な景色も楽しむ

西オーストラリアは珍しい花々が豊富ですが珍しい自然も豊富。荒野の墓標といわれるピナクルズや地球に酸素を生んだストロマトライトなども訪ねる予定です。



▲ピナクルズの荒涼とした風景